岩崎城だより

No.57
2022/7/1

「七夕」

特別展「にっしん焼き物ヒストリー」

日進市の古代から中世にかけての歴史で重要な要素を占める焼き物。日進市内の窯跡から出土した遺物を中心に展示し、市内における焼き物の変遷などを説明します。鳥鈕蓋（とりちゅうぶた）などの日進市指定文化財も紹介します。

館長のおはなし

今年の1月号にて『なんでも歴史相談』にて相談を受けた質問についてご紹介しましたが、歴史ではなく歴史の調べ方について相談を受けたことがあります。その子はインターネットをあまり使いたくないのでどうしたらいいの？ということでした。

今回は岩崎城の調べ方を例として調べ方をお教えしましょう。まず歴史を調べる際に参考にするのは本、書籍です。一般に流通しているものから、自治体史、専門書など様々なものがあります。岩崎城に関わる書籍を見つけるのであれば日進市立図書館に行くのが一番です。司書の方に聞けば様々な書籍を探してくれます。そして岩崎城のことを調べるのであれば実際に岩崎城に行くのも大切です。実際に見ないとわからないこともありますし、岩崎城であれば学芸員がいますから、わからないことを直接聞くこともできます。

そしてインターネットも歴史を調べるために大切な方法です。インターネット上には様々な情報が溢れ、誤った情報もたくさんあります。インターネットの情報は鵜呑みにするのではなく、その情報はどこから出て来たのか。出典を見つけ、正しいかどうかの判断をして、活用しましょう。

小学生のみなさん。夏休みの宿題で歴史を調べることがあればぜひ岩崎城に来てくださいね。

イベント情報

「日進市菊花大会 菊づくり講習会」 第2回　7月2日(土)　10:00～ 第3回　8月6日(土)　10:00～ 第4回　9月3日(土)　10:00～ 第5回　10月1日(土)　10:00～ (全日受講できなくてもかまいません。)	初心者の方でも大会実行委員が丁寧にお教えします。第2回、第3回と菊の植え替えを行い、立派な大菊を育て上げるお手伝いをします。菊花大会公式ツイッターでも情報を発信します。	
「岩崎城刀劇隊 ミニ剣術道場」 7月31日(日)・8月21日(日) 11:00～/14:00～ 参加無料・定員なし 雨天中止	岩崎城刀劇隊による剣術体験です。簡単な刀の扱い方、剣舞やポーズなどを練習します！「岩崎城侍大将への道」カードも配布しています。参加回数で位が上がるスタンプカードです！本格的な剣術を習ってみませんか？	
「にわさきくん」 7月10日(日)、7月17日(日) 8月14日(日)、8月28日(日) 11:00～11:15／14:00～14:15	にわさきくんがマスクを着用してお出迎えします。出陣日にはキャラ印も頒布しています。ぜひにわさきくんに会いに来てください！(距離を置いての写真撮影は可能です)	
「岩崎城 みんなのぬり絵展」 【募集期間】7月3日(日)まで (定員になり次第終了) 【展示期間】8月14日(日)まで	みなさんにぬっていただいたぬり絵をお城に展示しています！岩崎城マスコットキャラクターの「かんすけくん」「にわさきくん」「ことひめちゃん」や、岩崎城、丹羽家の家紋などのぬり絵があります。	

イベント参加はすべて無料です。ぜひ岩崎城へおこしください。

「岩崎城だより」

発行日　　2022 年 7 月 1 日(年 4 回発行)
編集・発行　岩崎城歴史記念館

〒470-0131
日進市岩崎町市場 67 番地
Tel 0561-73-8825
Fax 0561-74-0046
http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakijo

◆開館時間
9:00～17:00

◆休館日
月曜日
(祝日の場合は開館)
12 月 28 日～1 月 4 日

夏の岩崎城

特別展
『にっしん焼き物ヒストリー』

日進市の古代から中世にかけての歴史で重要な要素を占める焼き物。日進市内の窯跡から出土した遺物を中心に展示し、市内における焼き物の変遷などを説明します。鳥鈕蓋（とりちゅうぶた）などの日進市指定文化財も紹介します。

日進市から大量出土している山茶碗に触れるコーナーもあります。

■展示期間　8月13日(土)～10月2日(日)　■入館無料

岩崎城たくさん攻めますかーど

岩崎城たくさん攻めますかーどは岩崎城歴史記念館で行われる展示やイベントに参加し、スタンプを集めるスタンプラリーです。集めたスタンプ数に応じて景品がもらえます。ぜひ岩崎城を何度も訪れてください！
参加される方は、岩崎城歴史記念館ロビーにある申込書をご記入のうえ、記念館受付までお持ちください。

カードのデザインは4種類

スタンプ3個、6個、10個ごとにバッチがもらえます！
スタンプ3個…3種類から1つ
スタンプ6個…8種類から1つ
スタンプ10個…11種類から1つ
最後の三つのバッチはシークレットです

子ども向け歴史教室
小牧長久手の戦い

小牧･長久手の戦いを小学生向けに分かりやすく解説します。一緒に地元の歴史を楽しく学んでみませんか？

7月 30 日(土)10:30～11:30
【募集】7月9日(土)から
【対象】高校生以下
親子参加可、先着 40 名

第2回岩崎城歴史講座
「尾張藩士の見た長久手の古戦場」

天正 12 年(1584)に秀吉と家康唯一の直接対決である小牧･長久手の戦いが繰り広げられました。そして、江戸時代になり、尾張藩主を始め尾張藩士たちは合戦の跡地や縁の場所を巡り、その様子を日記に残しました。今回の講座では、尾張藩士の日記を読み解き、当時の古戦場巡りについて説明します。

7月24日(日)13:30～15:00
【募集】7月10日(日)から 参加費無料、定員 40 名

丹羽家ゆかりの人々

◆丹羽氏重（一五六九～一五八四）◆

岩崎城代。傍示本城主。四代目岩崎城主氏次の弟。天正十二年（一五八四）、岩崎城の戦いにおいて兄氏次に代わり岩崎城を守った。

犬山の楽田を出発した三河中入り軍は尾張国を南下、4月9日の早朝、先頭の池田恒興は岩崎城へ差し掛かった。寄り道をせず、敵に見つからず、急いで岡崎まで向かう約束であった。しかし、素通りさせるわけにはいかない丹羽氏重ら岩崎城兵の攻撃の前に恒興は岩崎城を攻撃することを決めたと伝わる。そうして起こったのが岩崎城の戦いである。岩崎城兵約300人に対し約7000人の池田軍。『丹羽氏軍功録』によると、氏重は城下の老人や婦人、幼い子供を妙仙寺に避難させたという。氏重は疱瘡を患いながらも城兵を鼓舞、池田軍を三度城外へ押し返すなど奮戦するが、多勢に無勢。最終的に氏重以下城兵は全員討死したとされる。

収蔵品紹介

『山茶碗』

山茶碗とは平安時代末から室町時代にかけて東海地方において焼かれ、東海地方で使用された釉薬を使わずに焼いた陶器のことです。特に丘陵地に焼き損じの碗が多く捨てられていたことから山茶碗と呼ばれるようになりました。山茶碗焼成窯では山茶碗と同時に小皿も焼いていたため、小皿も含めて山茶碗生産とされます。

およそ11世紀末から猿投窯、瀬戸窯、常滑窯で生産されましたが、施釉陶器生産も行った瀬戸窯、甕など大型製品生産も行っていた常滑窯に対し、猿投窯は山茶碗と小皿の生産を主としました。

中世猿投窯で生産された多くの山茶碗は尾張型山茶碗と呼ばれる種類で長石などの小石を含む胎土でやや厚めに製作されたものです。一方東濃地方中心に生産された山茶碗は東濃型山茶碗と呼ばれ、胎土に細かい粒子の粘土を使用し、薄く焼成したものです。

高級品を生産していた古代猿投窯とは違い、中世猿投窯は日用雑器の生産を行っていましたが、13世紀末になると猿投窯における生産は縮小していくことになります。

『山茶碗』